

<資料編>

参考資料 1	公園・緑地の機能と役割	36
参考資料 2	公園樹木の機能と役割	38
参考資料 3	樹種別樹木生長量（大樹冠/中樹冠の別）	40
参考資料 4	樹冠の重なり割合と密度・植栽本数の目安	41
参考資料 5	アンケート結果	43
参考資料 6	公園施設長寿命化計画策定指針（案）より抜粋	51

1 公園・緑地の機能と役割

(1) 都市環境の改善

公園・緑地は樹木や緑陰を多く確保していることから、温暖化防止、ヒートアイランド現象の緩和、大気の浄化、騒音・振動の緩和などの都市の環境改善に関する機能を持っています。

(2) 自然環境の保全

公園・緑地は動植物の生息・生育に適した環境であることから、希少種や地域固有種などの保全はもとより、動植物の共生などによる生物活動の活性化や生物多様性の促進なども期待できます。また都市部で減少傾向にある緑の確保など自然環境の保全に関する機能を持っています。

(3) 防災性の向上

公園・緑地が公共のオープンスペースであることから、災害時の避難場所として安全を確保する場であったり、復旧や救援救助の拠点となったりするなどの防災機能があります。

また、火災などの延焼や建物倒壊の連鎖を遮断するなどの減災機能なども持っています。

(4) 自然とのふれあいの場の提供

公園・緑地は、自然や生態系に直接ふれ合える場、生きた教材としての活用ができ、環境教育や自然観察などの自然保護に関する教育や啓発の場としての機能があります。

(5) 憩い・レクリエーションの場の提供

公園・緑地は、安らぎや潤い・休養などの保健的機能はもとより、遊びやレクリエーションの実施、スポーツや健康づくりを行う場として、生活を充実させるソフト面での活用・機能をもっています。

(6) 市民活動・教育や文化の場の提供

公園・緑地は、緑のオープンスペースであり緑や歴史・文化などの資源を持っていることから、活動スペースや題材として多種多様な活用ができ、市民活動・生涯学習の場の提供や絵画・写真・音楽・文学など芸術・文化面の題材としての機能も持っています。

(7) コミュニティづくり・地域の活性化

公園・緑地は、「地域の庭」として地域の身近な存在であることが多いため、地域やコミュニティの活動・交流の場としての機能があります。また公園の規模・特性によっては地域のシンボルとして他の地域との連携・交流の場となり、地域を活性化させる場として活用することができます。

(8) 都市景観の向上

公園・緑地は、都市景観の重要な要素として存在しており、公園・緑地が充実していると都市のシンボルになったり、都市イメージを向上させたりと都市のブランド力を高める効果が期待できます。また公園・緑地が緑化を充実させることで、都市の景観を向上させるだけでなく、緑化の見本になり、都市緑化の啓発・推進に繋げることもできます。

(9) 経済効果への寄与

公園・緑地は様々な機能・資源・特性を持っており、これらの資源や長所の活用の仕方によっては、観光やイベントのスポットとしてにぎわいの創出や集客など経済活動や経済効果を生み出すことができます。また都市の景観やブランド力が高まれば、不動産価値の向上などの間接的な経済効果も期待できます。

2 公園樹木の機能と役割

(1) 景観形成機能

公園樹木は、新緑や花・紅葉などにより四季を彩り、美しい景観や緑豊かな風景が街に潤いと安らぎをもたらすなど、都市における良好な景観の形成を図ることができます。

(2) 環境保全機能

公園樹木は、光合成をすることで温室効果ガスである二酸化炭素を固定し、樹体内に炭素を蓄積し、酸素を放出することから、カーボンニュートラルの効果があり、ヒートアイランド現象や地球温暖化の緩和などにも役立っています。

また、木陰を提供し地表温度を下げたり、葉の葉面が大気中の汚染物質や粉じんなどを吸着し、空気を浄化したり、葉や枝が音を吸収・拡散することで、騒音を低減させたり、強風を防止するなどの機能も持っています。

(3) 生物多様性保全機能

公園樹木は、緑陰や風通し、湿度調節など植物や鳥類、昆虫、小動物などの生育・繁殖環境となり、都市における生物多様性の拠点となっています。また、街路樹や河川沿いの緑地とつながり、生き物の移動経路としても機能しています。

(4) 防災・減災・土壌保全・雨水貯留機能

公園樹木や街路樹は、火災面からの熱に対して、樹木が放出する水蒸気で保護膜をつくり、放射熱を遮断し燃焼を緩和する機能を持っています。また、樹木の存在は火災の発生による上昇気流の動きを防ぐため、火災の流れるのを阻害し、飛来する火の粉を阻止し延焼を食い止める効果があります。

また、公園樹木が網のように土壌に根を張ることで土壌の支持力が上がることから、土砂の流出を防ぐ効果があります。また公園樹木の落葉などが腐植し、それらに雑草等の植物が生えることで表土の浸食を防ぐことができます。

その他、公園樹木を生育するには、必然的にその基盤が土壌になるため、雨水を保水・貯留する機能を持っています。また樹木も水分を吸収することから樹木及びその基盤全体で雨水を貯留する機能を持っています。

また樹林地など樹木がまとまっている場所などでは、雨水の流量を一時的に保水（調節）したり、水分に混じる不純物を樹木が吸収し浄化したりと、公園樹木を生育することが雨水調節・浄化に繋がると言えます。

(5) 保健・レクリエーション・環境教育機能

公園樹木の緑を眺めることで、心身の健康が促進され、癒しや精神の安定、疲労回復などの効果があり、休養や散策、森林浴などの利用ができる保健機能を有しています。

また、サクラなどの花木や紅葉するカエデなどは、花見や紅葉狩りなど樹木と季節を楽しむ行楽・レクリエーションなどにも利用されるほか、自然観察や季節の変化を体験できる場所として、子どもの学びの場としての機能もあります。

(6) 文化的価値（文化機能）

公園樹木は、身近な自然であり季節を感じる存在であることから、日本独特の四季を感じさせる文化的資源としての価値や、身近な自然・環境を知る教材になったり、芸術の題材になったりし、文化的利用ができる側面を持っています。また、長年親しまれてきた樹木が地域のシンボルとなりその地域のアイデンティティを形成にもつながります。

(7) 都市力向上機能

公園樹木の保健・レクリエーション機能や、文化機能、景観形成機能を高めることで、観光であったり不動産などの価値を高めたりする効果があります。またそれらが高まると都市としてのブランド力を高めることに繋がり、都市力向上にも繋がります。

3 樹種別樹木生長量（大樹冠/中樹冠の別）

1 樹冠（枝張り）

単位：m

樹 種	樹齢10年	樹齢20年	樹齢25年	樹齢30年	樹齢40年	樹齢45年	樹齢50年	樹冠の別
ソメイヨシノ	5.2	7.3	8.3	9.3	11.4	12.4	13.5	大樹冠
プラタナス	5.1	6.8	7.6	8.5	10.2	11.0	11.9	大樹冠
ケヤキ	5.0	6.2	6.9	7.5	8.7	9.3	10.0	大樹冠
クスノキ	3.4	4.9	5.7	6.5	8.1	8.9	9.7	大樹冠
ユリノキ	3.7	5.0	5.6	6.2	7.5	8.2	8.8	大樹冠
イチョウ	2.0	3.3	4.0	4.7	6.1	6.8	7.5	実績より大樹冠
シラカシ	2.4	4.0	4.8	5.6	7.2	7.9	8.7	実績より中樹冠
コブシ	1.8	3.4	4.3	5.1	6.7	7.5	8.3	実績より中樹冠
サルスベリ	2.7	3.9	4.6	5.2	6.4	7.0	7.7	中樹冠
ヤマモモ	2.5	3.7	4.3	5.0	6.2	6.8	7.5	中樹冠
ハナミズキ	1.9	3.0	3.6	4.1	5.2	5.8	6.4	中樹冠
クロガネモチ	1.5	2.6	3.1	3.6	4.7	5.2	5.8	中樹冠

2 樹高

単位：m

樹 種	樹齢10年	樹齢20年	樹齢25年	樹齢30年	樹齢40年	樹齢45年	樹齢50年	備 考
ユリノキ	8.6	11.1	12.3	13.6	16.1	17.4	18.6	
プラタナス	8.0	10.2	11.4	12.5	14.7	15.9	17.0	
シラカシ	4.6	7.0	8.2	9.4	11.8	13.1	14.3	
ケヤキ	6.3	8.2	9.2	10.2	12.1	13.1	14.0	
イチョウ	5.2	7.3	8.3	9.3	11.3	12.3	13.3	
クスノキ	7.0	8.2	8.8	9.5	10.7	11.3	12.0	
コブシ	4.0	5.8	6.7	7.6	9.4	10.3	11.2	
クロガネモチ	4.2	5.7	6.4	7.1	8.6	9.3	10.1	
ソメイヨシノ	6.6	7.4	7.8	8.3	9.1	9.5	9.9	
ヤマモモ	4.2	5.3	5.9	6.5	7.7	8.3	8.8	
サルスベリ	4.0	5.2	5.8	6.3	7.5	8.0	8.6	
ハナミズキ	2.8	4.2	4.9	5.6	7.0	7.7	8.4	

3 幹回り（胸高幹周）

単位：cm

樹 種	樹齢10年	樹齢20年	樹齢25年	樹齢30年	樹齢40年	樹齢45年	樹齢50年	備 考
プラタナス	26	70	92	114	158	180	202	
ソメイヨシノ	50	83	100	116	150	166	183	
クスノキ	44	74	89	105	135	150	165	
ユリノキ	52	77	90	103	128	140	153	
ケヤキ	42	69	82	96	123	136	150	
イチョウ	—	36	53	70	104	120	137	
シラカシ	26	53	66	80	107	121	135	
クロガネモチ	21	48	61	75	102	115	129	
ヤマモモ	38	59	69	80	101	111	121	
コブシ	20	41	51	62	83	94	104	
ハナミズキ	14	31	40	49	66	75	84	
サルスベリ	19	35	43	35	68	76	84	

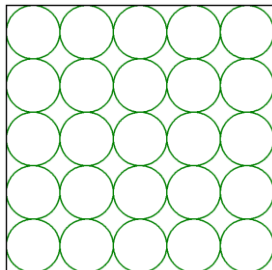
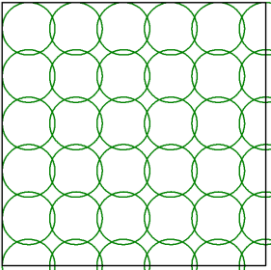
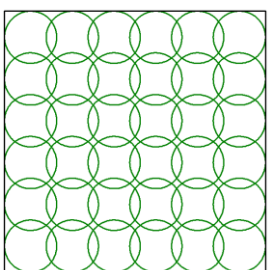
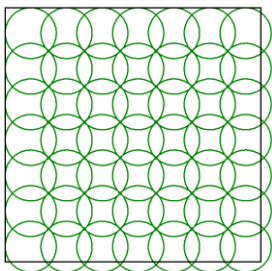
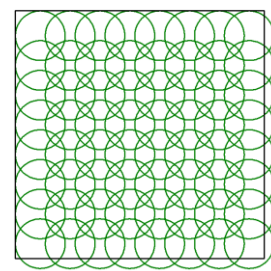
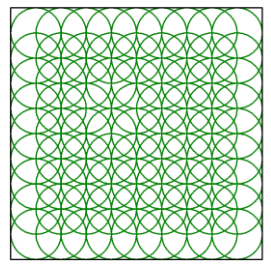
※国土技術政策総合研究所「公園樹木管理の高度化に関する研究」から算出

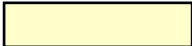
4 樹冠の重なり割合と密度・植栽本数の目安

(1) 樹冠の重なり割合と密度のイメージ

木漏れ日のさす風通しのより快適な空間とするために、広場を除く公園全体の標準的な植栽密度を〈2本/100㎡〉と設定します。

■ 樹冠の重なり割合と密度のイメージ

樹冠の 重なり割合	接する (重なりなし)	1 割	2 割
大樹冠の場合 の密度(間隔)	10 本/1,000 ㎡ (間隔 10m)	12 本/1,000 ㎡ (間隔 9m)	16 本/1,000 ㎡ (間隔 8m)
中樹冠の場合 の密度(間隔)	20 本/1,000 ㎡ (間隔 7m)	25 本/1,000 ㎡ (間隔 6.3m)	32 本/1,000 ㎡ (間隔 5.6m)
イメージ図			
樹冠の 重なり割合	3 割	4 割	5 割
大樹冠の場合 の密度(間隔)	20 本/1,000 ㎡ (間隔 7m)	28 本/1,000 ㎡ (間隔 6m)	40 本/1,000 ㎡ (間隔 5m)
中樹冠の場合 の密度(間隔)	42 本/1,000 ㎡ (間隔 4.9m)	57 本/1,000 ㎡ (間隔 4.2m)	82 本/1,000 ㎡ (間隔 3.5m)
イメージ図			

 : 密度 1 本/100 ㎡程度

 : 密度 2 本/100 ㎡程度

(2) 樹冠の重なりと植栽本数・密度の目安

■ 樹冠の重なりと植栽本数・密度の目安

樹冠の重なり	樹冠別面積比と本数の組み合わせ (単位：本/1,000㎡)					
	大樹冠のみ	大9：中1	大8：中2	大7：中3	大6：中4	大5：中5
接する (重なりなし)	10本	大9+中2本	大8+中4本	大7+中6本	大6+中8本	大5+中10本
1 割	12本	大11+中3本	大11+中5本	大8+中8本	大7+中10本	大6+中13本
2 割	16本	大14+中3本	大13+中6本	大11+中10本	大10+中13本	大8+中16本
3 割	20本	大18+中4本	大16+中8本	大14+中13本	大12+中17本	大10+中21本
4 割	28本	大25+中6本	大22+中11本	大20+中17本	大17+中23本	大14+中29本
5 割 (半径程度)	40本	大36+中8本	大32+中16本	大28+中25本	大24+中33本	大20+中41本

樹冠の重なり	樹冠別面積比と本数の組み合わせ (単位：本/1,000㎡)				
	大4：中6	大3：中7	大2：中8	大1：中9	中樹冠のみ
接する (重なりなし)	大4+中12本	大3+中14本	大2+中16本	大1+中18本	20本
1 割	大5+中15本	大4+中18本	大2+中20本	大1+中23本	25本
2 割	大6+中19本	大5+中22本	大3+中26本	大2+中29本	32本
3 割	大8+中25本	大6+中29本	大4+中34本	大2+中38本	42本
4 割	大11+中34本	大8+中42本	大6+中46本	大3+中51本	57本
5 割 (半径程度)	大16+中49本	大12+中57本	大8+中66本	大4+中74本	82本

：密度1本/100㎡程度となる組合せ

：密度2本/100㎡程度となる組合せ

5 アンケート結果

(1) 令和3年度 名古屋市公式LINEアンケート

ア 調査期間

令和3年11月24日（金）～11月30日（月）

イ 調査方法

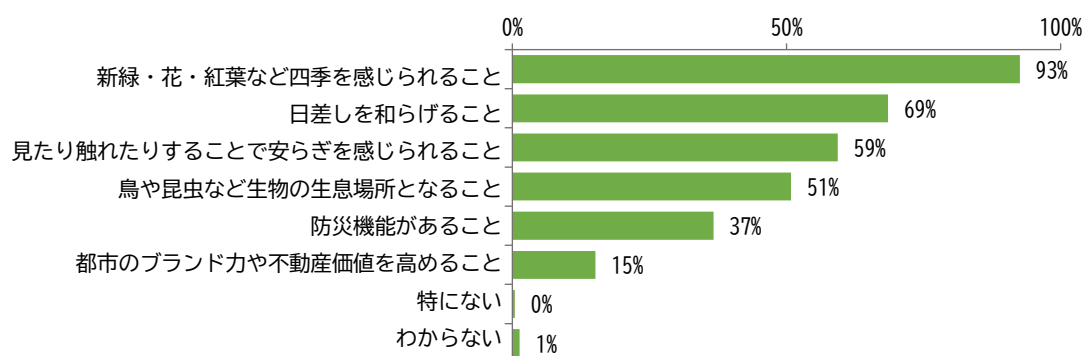
- (ア) 対 象 友だち登録者、54,112人（令和3年11月現在）
(イ) 調査方法 LINEを通じてアンケートに回答
(ウ) 回収率 有効回収数3,695人、有効回収率6.8%

ウ 回答集計結果

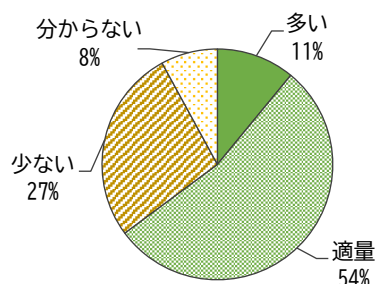
名古屋市では、高度経済成長期以降、公園の整備に合わせて多くの樹木を植栽してきましたが、植栽後40年以上経過し、老木化・大木化及び過密化により事故リスクが高くなった公園の樹木が増えてきています。このような状況のなか、現在名古屋市では、公園樹木の維持管理について良質な環境づくりを検討しています。

■ 回答集計

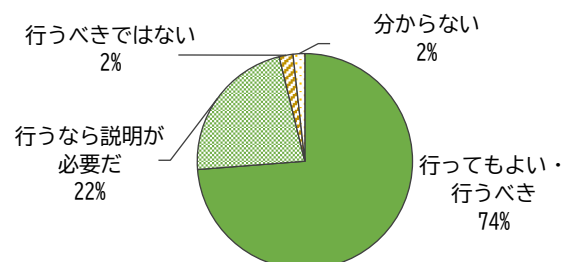
問1 あなたが公園の樹木に期待することは何ですか。（複数選択可）



問2 名古屋市内の公園の樹木の量に対してどう思いますか？

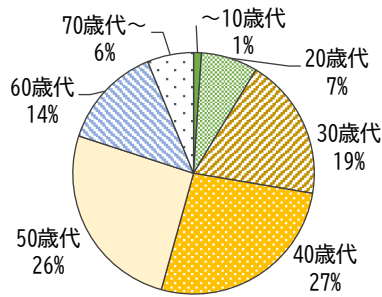


問3 あなたは、大木化・老木化及び過密化し事故リスクが高くなった公園の樹木（高木）の撤去や植え替えをどう思いますか？

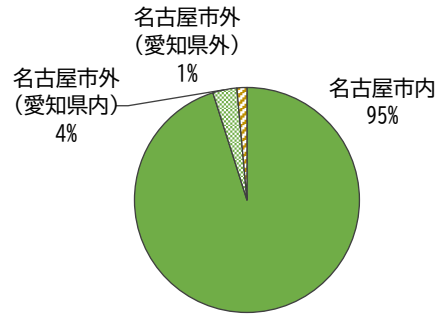


■ 属性集計

(ア) 年齢



(イ) 居住地



(2) 令和6年度 ネット・モニターアンケート

ア 調査期間

令和6年8月30日(金)～9月9日(月)

イ 調査方法

(ア) 対象 市内在住の18歳以上の方で、市政に関心のある方(公募)、500人

(イ) 調査方法 インターネットを通じてアンケートに回答

(ウ) 回収率 調査対象500人に対して有効回収数449人、有効回収率89.8%

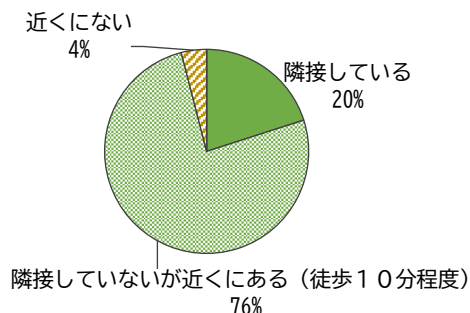
ウ 回答集計結果

名古屋市の公園では、これまで早期緑化や緑の量の確保を目的に、早く大きく生長する樹木を多く植栽してきましたが、一部の公園樹木は老木や大木となり、維持管理の面で様々な課題を抱えています。そこで、本市では、「樹木を健全に育て、緑の量を確保しつつ、質を高めていく取り組み」を検討しています。

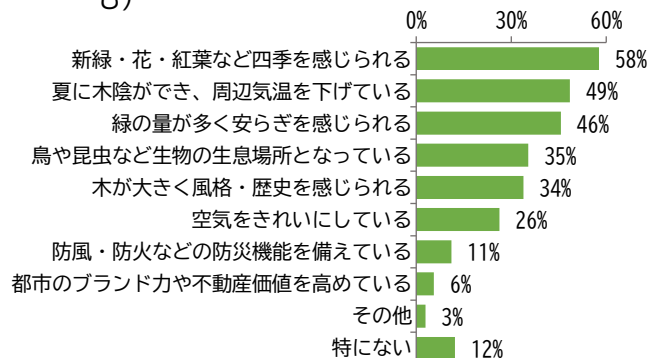
このアンケートは、市民の皆様にも、公園の樹木について日頃感じていることなどをおたずねし、今後の公園の樹木管理の参考とするものです。

■ 回答集計

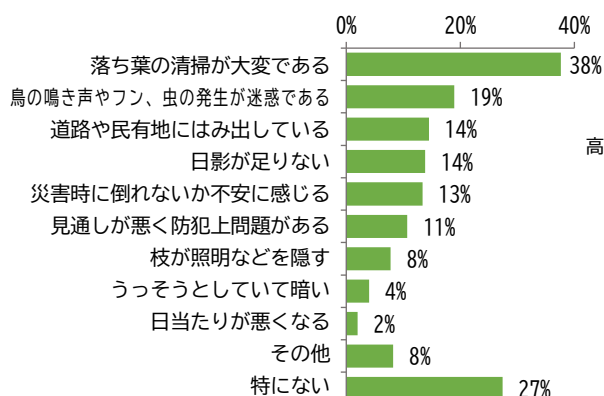
問1 あなたのお住まいの近くに公園はありますか。(選択は1つ)



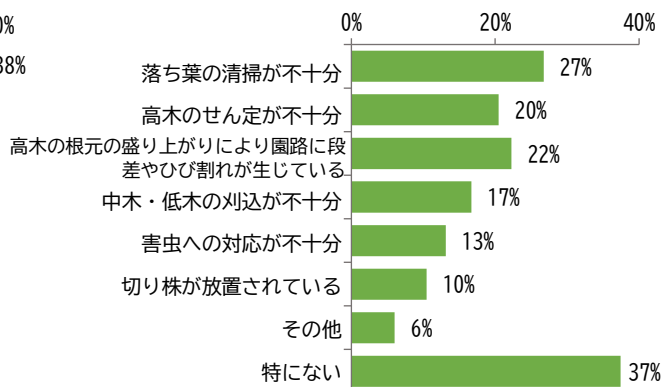
問2 あなたが、名古屋市の公園樹木に対して満足していることは何ですか。(選択はいくつでも)



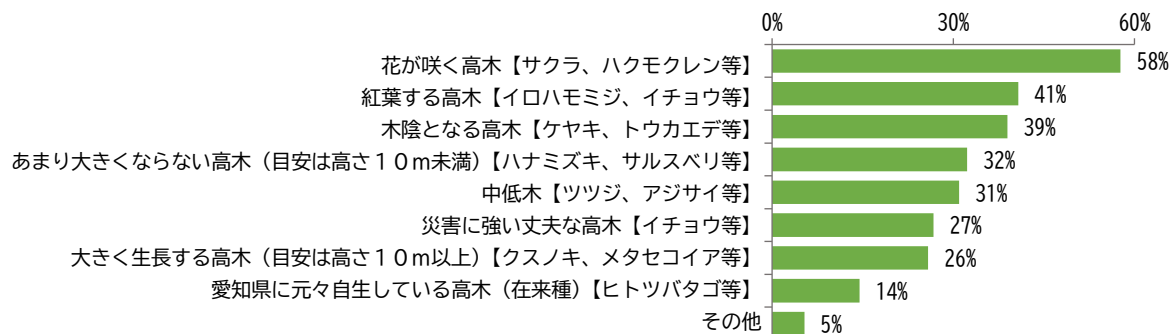
問3 あなたが、名古屋市の公園樹木に対して不満に思うことは何ですか。(選択はいくつでも)



問4 名古屋市の公園樹木の維持管理について、不満に思うことは何ですか。(選択はいくつでも)



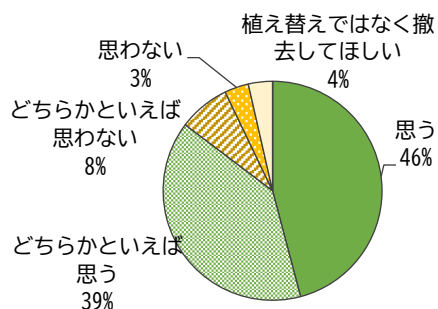
問5 公園に植栽してほしいと思う樹木はどれですか。(選択はいくつでも)



● 名古屋市で検討している公園樹木の取り組みについて

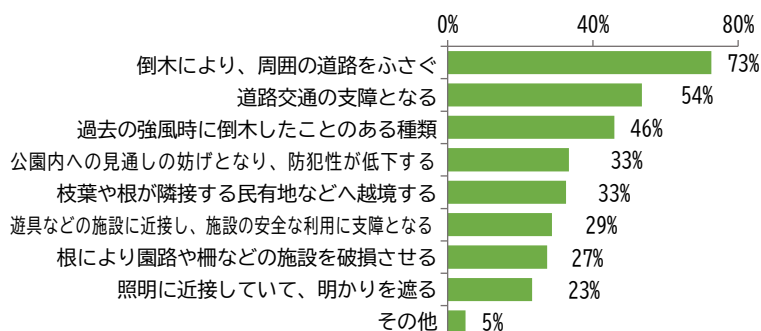
名古屋市の公園では、近年、台風などの強風時に老木化・大木化した高木による倒木事故が発生し周辺道路をふさいだり、枝葉等が道路交通の支障になるなどの課題が顕在化してきました。このため、安全・安心な公園緑地としていくために、このような高木については『植え替え』を検討しています。

問6 倒木等の可能性のある高木はあらかじめ植え替えた方がいいと思いますか。



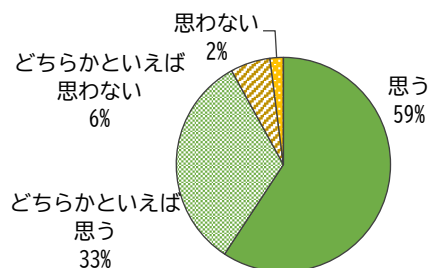
※問6で「思う」または「どちらかといえば思う」と答えた方

問7 あなたは、どのような高木ならあらかじめ植え替えてもよいと思いますか。

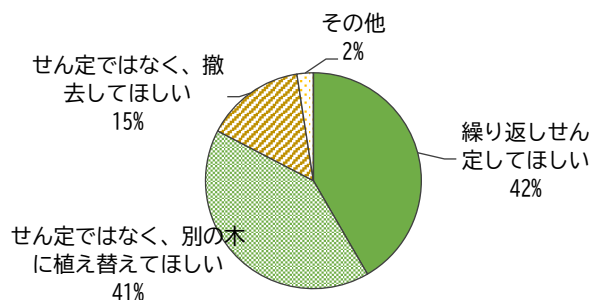


名古屋市では、混み合って生長した高木や中木が生育不良をおこしたり、うっそうとして見通しが悪くなっている場所があります。このため、より健全な樹木を育成し、快適な公園緑地としていくために、こうした場所においては『間伐（混み合った樹木を一部伐採し、樹木が健全に生育できる場所を確保すること）』を検討しています。

問8 樹木が混み合ったり、うっそうとして見通しが悪くなっているような場所においては、高木や中木を間伐した方がいいと思いますか。

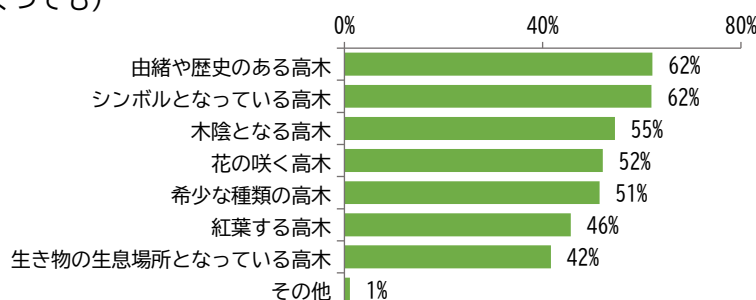


問9 民有地へ越境したり、遊具や照明等の機能を阻害している高木を繰り返しせん定することについて、あなたはどのように思いますか。



名古屋市では、現在公園にある高木のうち、維持管理の面で課題となっていない高木については、健全に守り育てていきたいと考えています。

問10 あなたが、将来にわたり健全に守り育てていきたい高木はどれですか。（選択はいくつでも）



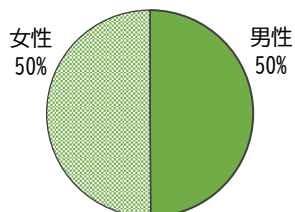
問11 その他、公園の樹木に関してご意見があればご自由に記入ください。（173件）

【意見抜粋】

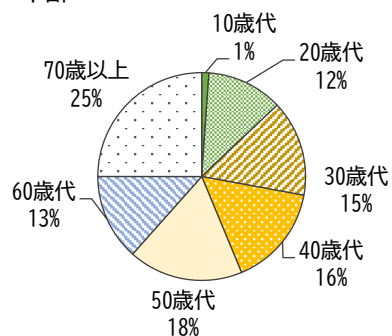
- ・公園の樹木は私達の心身を癒してくれる存在だと思うし、立派に育った大木は尊いと思うので、むやみに伐採撤去するのは反対です。今年の夏のような暑さに木陰のありがたさも痛感しましたし。ですので、公園にはぜひとも樹木を残して欲しいです。
- ・倒木の可能性がある木を放置しているといつかは大きな災害が発生してしまうので、少しずつでも対応して欲しい。
- ・大きなシンボルになるような木は残して欲しい。でも倒木の危険があるならば、せん定もしくは切ってしまうのは仕方がないのかもしれない。
- ・落ち葉の清掃や、定期的な伐採は費用も手間もかかるとは思いますが、それ以上に空気をきれいにしたり、木陰を作ったり、小鳥などの休憩所になったりとメリットの方が大きいので是非今後も公園の樹木を育てて管理して欲しいです。
- ・近くの公園は花と樹木のバランスがとれていてとても快適ですが、一部木がうっそうと生えている場所があります。そこがすっきりと見通しが良くなればより快適になると思います。

■ 属性集計

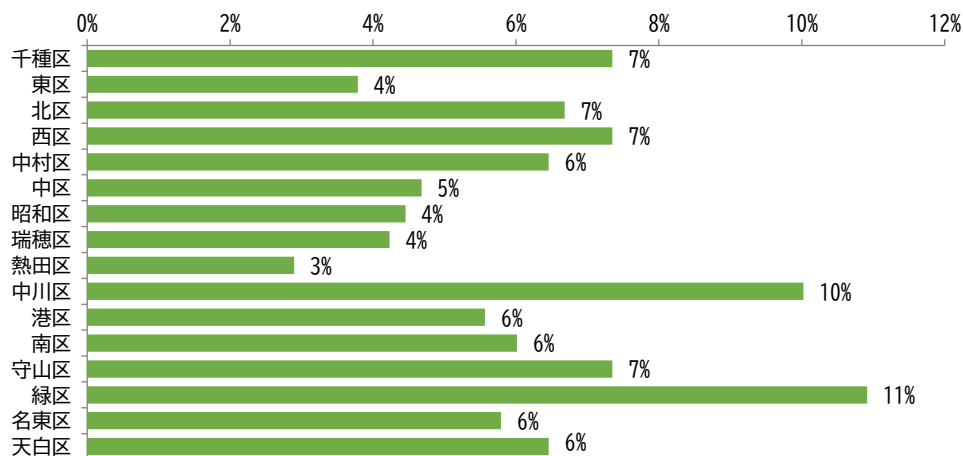
(ア) 性別



(イ) 年齢

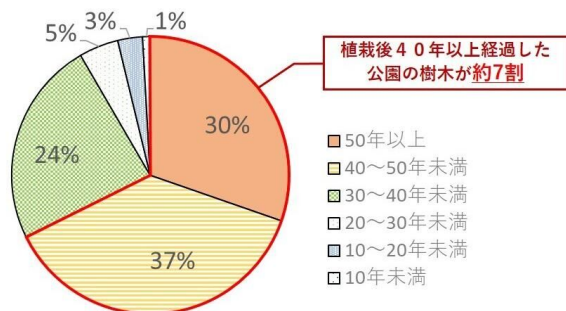


(ウ) 居住区

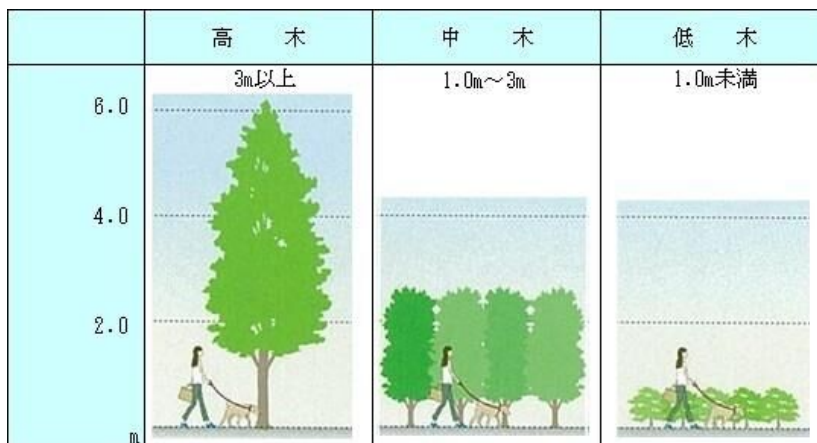


エ アンケート添付資料

別添1：公園樹木（推計 15 万本）の植栽後年数別割合



別添2：高木・中木・低木の樹高区分

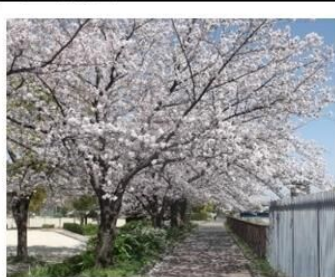


別添3：公園樹木の例

参考資料

樹木の種類		サクラ	ハクモクレン	ウメ	ハナモモ	シデコブシ	ヒトツバタゴ	タイサンボク	サルスベリ	ハナミズキ	イロハモミジ	イチョウ	トウカエデ	ナンキンハゼ	アメリカフウ	ケヤキ	クスノキ	メタセコイア	クロガネモチ	ムクゲ	ツバキ	キンモクセイ	ツツジ	アジサイ
樹木の特長		*	*			*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
高木	花が咲く高木	○	○	○	○	○	○	○	○	○						○								
	紅葉する高木										○	○	○	○	○	○								
	木陰となる高木	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
	大きく生長する高木							○				○	○	○	○	○	○	○						
	あまり大きくならない高木	○	○	○	○	○	○		○	○	○													
	愛知県に元々自生している高木					○	○				○						○		○					
	災害に強い丈夫な高木										○													
中低木																			○	○	○	○	○	○

*印は写真あり

			
サクラ	ハクモクレン	サルスベリ	ハナミズキ
			
イロハモミジ	イチョウ	トウカエデ	
			
ケヤキ	クスノキ	メタセコイア	ヒトツバタゴ
			
ムクゲ	キンモクセイ	ツツジ	アジサイ

(3) 令和6年度 名古屋市公式LINEアンケート

ア 調査期間

令和6年9月11日(水)～9月17日(火)

イ 調査方法

(ア) 対 象 友だち登録者、103,634人(令和6年9月現在)

(イ) 調査方法 LINEを通じてアンケートに回答

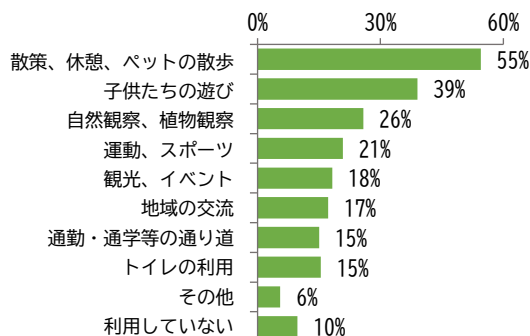
(ウ) 回収率 有効回収数1,337人、有効回収率1.3%

ウ 回答集計結果

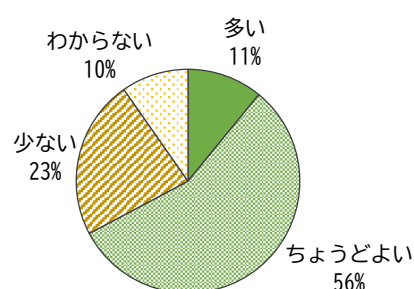
名古屋市の公園では、老木化・大木化した樹木が強風時に倒木したり、うっそうとして見通しが悪い場所があるなどの課題が顕在化しています。そこで、本市では、樹木を健全に育て、安全・安心して快適な公園緑地としていくために、植え替えや間伐、せん定などにより緑の量を確保しつつ、質を高めていく取り組みを検討しています。

■ 回答集計

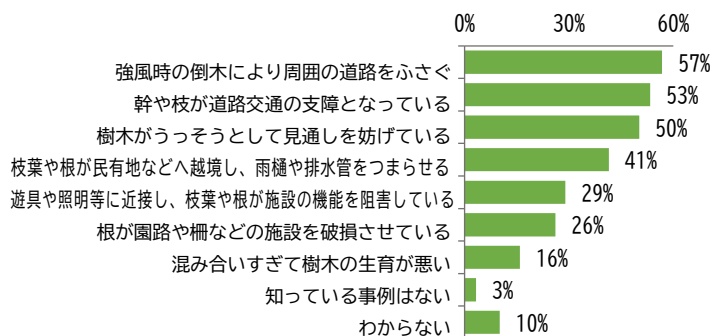
問1 あなたは過去1年間に、どのような目的で公園を利用しましたか。(複数回答可)



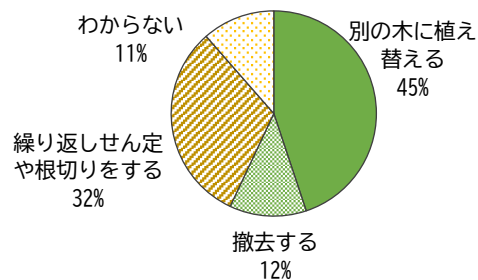
問2 あなたは、名古屋市の公園の樹木の量をどう思いますか。



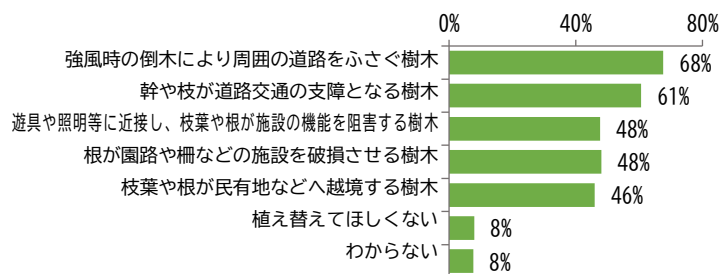
問3 公園樹木は都市に潤いや安らぎを与える一方で、トラブルの原因になり得ます。あなたはどの事例を知っていますか。(複数回答可)



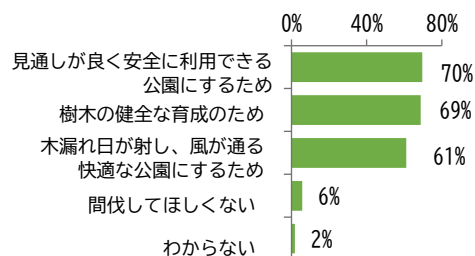
問4 トラブルを防ぐためせん定や根切りを繰り返すと木にダメージを与えます。トラブルの原因となる樹木はどうしたらよいと思いますか。



問5 トラブルの原因となる樹木を植え替える場合、どのような状態の樹木なら植え替えても良いと思いますか。(複数回答可)

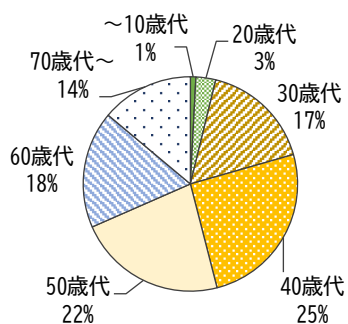


問6 緑の量を確保しつつ、質を高めるため、公園の樹木は、どのような理由なら間伐しても良いと思いますか。(複数回答可)

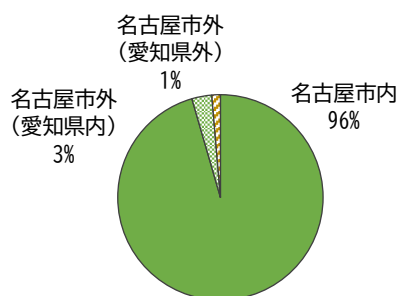


■ 属性集計

(ア) 年齢



(イ) 居住地



6 公園施設長寿命化計画策定指針（案）より抜粋

■国土交通省「公園施設長寿命化計画策定指針（案）Ⅱ-6 植栽の取扱いについて」より抜粋

Ⅱ-6 植栽の取扱いについて

植栽は都市公園の性格や印象を決定付けるともいえる重要な施設であり、植物管理は公園管理全体の中で費用や業務量の面でも大きな部分を占めている。

P5に述べたとおり、植物は公園施設の中で管理の質により発揮する機能に大きな差が生じる特性があり、その機能が最大限発揮されるよう、長寿命化計画において長期的な観点で計画的に管理方法を整理しておくことが考えられる。

（１）都市公園の植物管理の状況

公園の樹木は年月とともに、大木に生長し、緑陰を形成し、美観を高め、季節の変化を来園者が感じることができると、様々な効果・機能を発揮している。また、CO₂の吸収源、生物の生息空間の形成、ヒートアイランド現象の緩和作用など、都市の環境改善に重要な機能を担っている。

しかしながら、財政上の制約等から、植物管理が十分に行きとどかない都市公園も多く、樹木の生育環境の悪化による景観の質の低下、生育不良による倒木などの危険、病害虫の発生や、樹木が鬱蒼となることによる防犯面での安全性低下などの問題が顕在化している。

（２）長寿命化計画における植物の扱い

植物は、他の公園施設と異なり、施設の機能保全やコスト縮減の観点ではなく、植物が健全に生育するため、その育成・維持・保全のために必要な管理を適切に行っていくことが重要である。

そのため、植栽地ごとの特性に合わせ、植物管理の基本的な方針と、それに必要となる年間の概算費用について、他の施設とは策定手順を分けて長寿命化計画に位置づけることとする。また、植物管理の基本的な方針は、植物の健全な生育や良好な景観形成が実現できるよう、長期的な視点で定めることとする。

管理目標に基づいた適正な手入れを行い、植物の生育に支障を来すことがないようにすることで、植物のもつCO₂吸収、生物生息空間確保、景観形成といった機能が発揮され、ひいては最も適切なコストでの管理につながるものと考えられる。

なお、個別の管理目標については、健全な樹林地を育成するための密度管理について記載するなど、具体の植栽管理のあり方を示すことが望ましい。

以下、長寿命化計画における植栽管理の視点と管理目標との関係を示す。

（※植物管理の基本的方針や調査記録の様式は、p67 表-18を参照）

表-17 植栽管理の視点と管理目標

視 点	課 題	管理目標
倒木や落枝などの リスク低減	・落枝や倒木により利用者への 危険性の増加	・日常的な維持保全により倒木などの リスクを低減し利用者への危険が無 いよう定期的な管理を行う。
防犯性	・トイレ脇や駐車場、公園出入 口の鬱蒼とした植栽により、 防犯性の安全性が低下。	・植物による死角が生じないよう視認 性を確保する。
利用者の満足	・公園は、利用者に使われるた めに設置されるものであり、 植物の枯損は、利用者の満足 度を低下させ来園意欲を損な う。	・安全性、清潔性など、利用者が満足 できる空間を維持・創出する。
景観・空間デザイン	・植物の生長を想定した設計が 行われている場合や密度管理 が必要な場合など、適正な管 理が必要。	・適切な植栽管理による良好な景観形 成、空間デザインという意識を持 った管理を行う。
CO ₂ の吸収源	・植物が健全に生長していない 場合、CO ₂ の吸収固定作用が低 下。	・CO ₂ の吸収固定効果を最大限発揮さ せるよう、特に生長期にある樹齢の若 い植物が健全に生長しているか配慮 する。
生物生息空間	・生物生息環境として必要な規 模、連続性や多様性が失われ た場合、生息できる生物種や 数が減少。	・地域の環境特性や生物相、貴重種の 状況などを踏まえ、エコロジカルネ ットワークの形成に配慮した管理を 行う。

(3) 対象とする植栽地の考え方

公園全体の植栽地に係る管理目標を定めるため、対象とする植栽地を、公園の特色や植栽機能（一般的な植栽、芝生地や日本庭園の植栽、雑木林、保存樹、単木植栽(シンボルツリー等)など）、環境、景観、利用、安全確保などを考慮して総合的に判断する。

(4) 予備調査の実施

植栽地は、ライフサイクルコストの縮減を目指し管理類型を検討する施設ではないため、健全度調査を行う必要がない。そのため、予備調査の段階で目視により把握した状況（種別（樹林地、単木、芝地）、生育状況など）を記録し、対象となる植栽地の状況を把握する。その際、成長しすぎた植栽について密度管理のための間引きや剪定の必要性の有無、日本庭園の植栽において庭園景観として配慮すべき事項など、植栽ごとの留意事項について特に記録しておくことが望ましい。

(5) 植栽地ごとの特性を踏まえた管理方法の設定

植物管理については、一般的な公園の植栽地では剪定や間伐、病虫害の防除などの保全的な管理を中心に検討することが考えられる。この他、日本庭園の植栽のように庭園景観の構成要素として樹姿を計画的に管理することや、ビオトープなど自然植生に近づけるため粗放的な管理とするものなど、植栽地ごとの特性を踏まえた適切な管理方法を設定する。

また、外来種の駆除や生物多様性の確保を考慮することや、設計・施工段階で予測できなかった生育不良等への対応として、例えば踏圧で裸地化した芝生や、樹勢が低下したため強風などで倒木の危険性が生じている樹木などに対する土壌改良などの対策について、長寿命化計画に位置づける事も有効である。

公園樹木健全化指針

令和 7 年 10 月

名古屋市 緑政土木局 緑地部 緑地維持課

〒460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目 1 番 1 号

TEL : 052-972-2483 FAX : 052-972-4143

URL : <https://www.city.nagoya.jp>